

青葉区民文化センター 平成 28 年度事業計画

1 平成 28 年度の位置付け

指定管理後折り返しとなる3年を経過し、平成28(2016)年度は、区民利用者の一層の満足度向上を目指して運営を実施してまいります。従来どおりアンケートなどを通じて区民ニーズを汲み取ることに加え、直接ご意見をヒアリングさせていただく機会なども設けて、精度をあげた運営に活かしてまいります。

今年度は「青葉区民文化センター」に求められる「地域コミュニティ・地域の文化的コモンズ形成」といったことを意識し、各種の活動の幅や地域を広げて実施します。区民プロデュース公演の更なる充実、各種アウトリーチの積極活動等も行います。そして区民参加と人材育成の観点から、区民企画委員・区民サポーターとの協力体制構築も視野に入れていきます。

ホールの市民利用はもとより、各施設の利用促進・安定稼働のための活動を強化し、地域の芸術団体、地域の音楽関連教室、そして地域住民への利用促進活動を行います。

3年間で蓄積した経験を元に、必要な保守修繕・備品他の充実などを積極的に実施し、施設自体の安全安心快適な環境づくり、ご利用満足度の向上を目指します。

2 平成 28 年度の文化事業の提案

(1)音楽を中心とする質の高い文化芸術の創造・発信に関する取組

取組内容	達成指標・成果
<p>音響効果に優れたフィリアホールの特性を活かし、上質な鑑賞事業を実施し、地域への文化発信の役割を果たします。企画にはアンケートや区民企画委員等の意見も汲み取り、より青葉区に根ざした事業を行うことを目標とします。</p> <p>参加型事業として、4年目になる区民企画委員によるプロデュース公演は2公演実施予定。合唱団はモノコ少年合唱団(共催公演)との共演も予定。2016年度は「横浜音祭り 2016」開催年に当たり、フィリアホールも公演会場として、更には広報連携等で積極的に協力します。</p> <p>アウトリーチ活動は学校関係を年3回実施し、地域ケアプラザや病院の訪問コンサートを企画します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆土曜ソフレスリーズ「女神《ミューズ》との出逢い」 一流のベテランから新進気鋭の若手まで、今聴きたいと思える女性アーティストによる華やかなリサイタル。 (年間8回以上実施目標) ◆JUST ONE WORLD シリーズ「ただ一つの世界」 世界の超一流の海外アーティストによるリサイタル。 (年間1回以上実施目標) ◆ハイムコンツェルトシリーズ 室内楽に最適なホール特性を活かした公演。今年度のテーマは《日本×フランス 室内楽の現在(いま)》 (年間2回以上実施目標) ◆ウィークデーコンサートシリーズ 「らん・らん・ランチにいい音楽」 コンサートビギナー向けに低価格で気軽に音楽に触れることのできる企画 (年間6回以上実施目標) ◆土曜ティータイムコンサートシリーズ「音楽のある風景」 音楽に触れ、上質で贅沢な時間を提供する企画。休憩時間にはお茶とお菓子をご提供。クラシック以外のジャンルにも幅広く対応。(年間2回以上実施目標) ◆神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ 「名曲の午後」 地元オーケストラの神奈川フィルと提携するシリーズ 公演時間90分、チケットも比較的安価に設定。 (年間2回以上実施目標) ◆ニューイヤー特別コンサート 新しい年を気持ちよく迎えるガラ・コンサートの開催。 ◆ファミリー・コンサート・シリーズ ファミリー向けに夏とクリスマスに、1日2公演実施。またクリスマスにはシニア向け公演も企画。近隣大学学生達の発表の場、運営協力の場として機会提供。

	<p>◆フィリア・トーク&コンサートシリーズ 《本と音楽の素敵な出逢い》 今年度新企画。音楽を愛好する異ジャンルの一流人と音楽アーティストの対談・演奏で新たな音楽の楽しみ方を発見してもらう企画 (年間2回以上実施目標)</p> <p>◆フィリア・トーク&コンサートシリーズ 《知って愉しむクラシック!》 今年度新企画。コンサートに加えてアーティスト自身によるレクチャーやマスタークラスを同時開催。「知る」・「学ぶ」経験を愛好家や地域住民に提供する企画 (年間3回以上実施目標)</p> <p>◆その他鑑賞型共催公演 主催公演と並んで、ホールイメージ向上に貢献できる厳選された質の高い公演。(年間10回以上実施目標)</p> <p>◆横浜市と連携したアウトリーチ活動 青葉区近隣の小学校へのアウトリーチ活動を実施。また、区内地域ケアプラザや高齢者施設等への訪問コンサートを実施。 (学校3校以上目標・地域施設1ヶ所以上目標)</p> <p>◆横浜音祭り2016 フィリアホールも関連公演会場に。横浜シンフォニエッタの公演予定。他に広報連携・共催などで協力</p>
--	--

(2)人材育成の取組

取組内容	達成指標・成果
<p>青葉区内の文化振興を担う人材を育成する拠点機能として、区民企画委員による区民プロデュース公演と各種文化事業で協働していただく区民サポーター制度(ボランティア)を導入。また、近隣地域の大学と連携しながら、ホール受付・レセプション業務や文化事業での学生スタッフ採用・参加などを通して、多角的な人材育成を目指します。</p> <p>幅広い世代が生き生き活動する青葉区文化拠点として、若い音楽家達の各種コンクールに協力支援する企画や、地域連携・世代間のコミュニケーションや出会いを創出します。また、個々人が文化貢献活動を通して自己表現の楽しみや自己実現の喜びを感じられるような場所や機会の提供に努めます。青葉区民文化センターは区民との触れあいの中で、社会のニーズを把握し、より意義があり親しみを持っていただける文化拠点形成を目指します。</p>	<p>◆区民企画委員募集・企画プロデュース公演実施 区民から「企画委員」を募集し、区民による区民のための企画を実施。(年間2回実施目標)</p> <p>◆区民サポーターの募集・育成 区民サポーター(ボランティア)を区民から募集。各公演の運営業務をお手伝いいただきます。</p> <p>◆あおば音楽ひろばジュニアフェスティバル連携 「あおば音楽ひろばジュニアフェスティバル」と連携。青葉区民文化センターでの演奏機会を提供。</p> <p>◆フレッシュ横浜音楽コンクールへの協力</p> <p>◆かながわ音楽コンクールへの協力 音楽を愛好するアマチュアの演奏を講評するコンクールを実施。</p> <p>◆ホール専属レセプションの育成 青葉区民文化センター専属のレセプションを地域の方を優先に採用。</p>

(3) 地域ニーズに応えた特色ある取組

取組内容	達成指標・成果
<p>当事業体は本事業を行うに際し、横浜市の考え方に則り、施設が果たす役割を十分に発揮し、市民・区民の皆様とともに地域の活性化を担う一員でありたいと考えております。「利用者や区民の方々の声に真摯に耳を傾け、常にそれらを反映させたサービス」を展開します。</p> <p>ファミリーコンサートに加え、気軽に音楽に触れる機会の提供を目指した「体験デー」開催。さらに例年ニーズの高い「よちよち音楽ワークショップ」は春と秋に各 1 日間 3 回の合計 6 回。また「よちよち音楽教室」を年 3 回各 1 日 2 回の計 6 回の開催。</p> <p>地元文化芸術団体の公演等は、区の後援団体では優先予約等に対応。また、青葉公会堂や各地区センターなどの施設とも連携し、情報交流やタイアップ企画を実施していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆区民プロデュース公演の実施 区民企画委員と協働し、区民自らが考えて企画を発する仕組みを作り、その活動をサポート。 (年間 2 回実施目標) ◆ホール体験デーの開催 体験型事業である「ホール体験デー」を実施。普段は見られない舞台裏の探検、音楽劇やミニコンサート、舞台デモンストレーション、楽器体験や楽器作りなどを用意。(年間 1 回実施目標) ◆「よちよち音楽ワークショップ」「よちよち音楽教室」 ホールでコンサートを聴くには早い 1～3 才児向けの音楽体験・音楽入門編。(年間 5 回実施目標) ◆「マエストロの白熱教室 2016」の開催 世界的に活躍する指揮者の広上淳一により、指揮の授業をホールで公開実施。(年間 1 回実施目標) ◆「プレトーク・講座」の実施 鑑賞型事業と連動し、演奏者が語る機会を設ける。 ◆区民の事業鑑賞機会の拡大 鑑賞事業に際して、青葉区民の方を対象に特定公演への区民招待を実施。 ◆ホール共催・協力公演の取り組み 地域の文化芸術振興に資すると判断できる団体に対してサポートし、活動しやすい環境を整える。 ◆65 才からのアートライフ 生き生きとした高齢者のための社会づくりを実現すべく、演奏を発表する演奏会をバックアップ。 ◆区内各種施設との連携 青葉区内で活動する文化団体の情報交流を区内施設の掲示板など活用し、文化活動の活性化に貢献。

3 施設運営業務の取組

取組内容	達成指標・成果
<p>青葉区民文化センターは、横浜市中心部または東京都心まで出かけることなく、身近にそして気軽に一流アーティストの演奏会を始め、小さなお子様連れのお客様にもお楽しみいただける多世代にわたり利用されるホールと位置づけます。</p> <p>お客様がご来場のひとときを快適にお過ごしになれるよう施設運営環境を整え、青葉区民文化センターの特性を生かした施設運営環境整備に努めます。</p> <p>貸館運営事業の安定した利用稼働を目指して各種利用促進活動を実施していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆青葉区民の方を対象に「区民招待」を実施 鑑賞事業に際しては、青葉区民の方を対象に特定公演への招待を実施。広報青葉を通じ、年間で定期的に広報を実施。 ◆託児サービス ファミリーコンサート開催時、託児サービスを実施。 ◆情報コーナーの整備 豊富な音楽書籍や専門資料を配架。常時音楽雑誌の最新号の補充を行います。休憩に、打ち合わせに、学習にご利用いただけるスペースにいたします。また、コピー機を設置し、顧客サービスの向上に努める。 ◆チラシラックの配置 チラシラックには、主催公演、貸館公演、他施設のチラシ、公演カレンダーを分別して配架。 ◆ダイレクトメール(DM)による鑑賞事業開催案内 希望者に対して開催案内等を送付。 ◆自主事業・貸館委託チケットの取扱い 取扱いチケットは、窓口・電話申込だけでなく、24 時間受付可能な PC・モバイルからの申込を実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ◆レセプションニストの派遣 公演の際、要望によりレセプションニストを派遣。 ◆バーカウンターの活用 要望に応じ、バーカウンターを営業し、ドリンク販売サービスを実施。 ◆青葉台周辺“お店マップ”作成 周辺の“お店マップ”を作成、地域紹介を兼ねる。 ◆ホームページ運用・メールマガジン ホームページを運用。また、メールマガジン配信にも力をいれ、情報発信に力を入れる。 ◆「イベントカレンダー」 毎月ホールで開催されている公演内容が一目でわかる「イベントカレンダー」を配布。 ◆定期的な情報提供 「広報よこはま青葉区版」「あしすと」「ヨコハマ・アートナビ」「青葉区内回覧板」などを活用。各種新聞媒体やタウン誌などへの情報提供にも努め、地域に根ざした広報活動を掲げ取り組む。 ◆「くらしの窓」への差込広告 代表企業管理受託マンションに公演チラシ等配布。 ◆デジタル・サイネージ 東急グループ「イツ・コミュニケーション」が手掛ける、青葉区近隣マンションのエントランスに設置された、サイネージへの積極的な情報提供。 ◆目標貸館稼働率について 貸館対象について下記稼働率を目標とする。 ●ホール・62% ●リハーサル室・92%、●練習室 1・89%、●練習室 2・89%、●練習室 3・89% ◆チケット想定販売率について チケット想定販売率は年間平均 83%を目標とする。
--	---

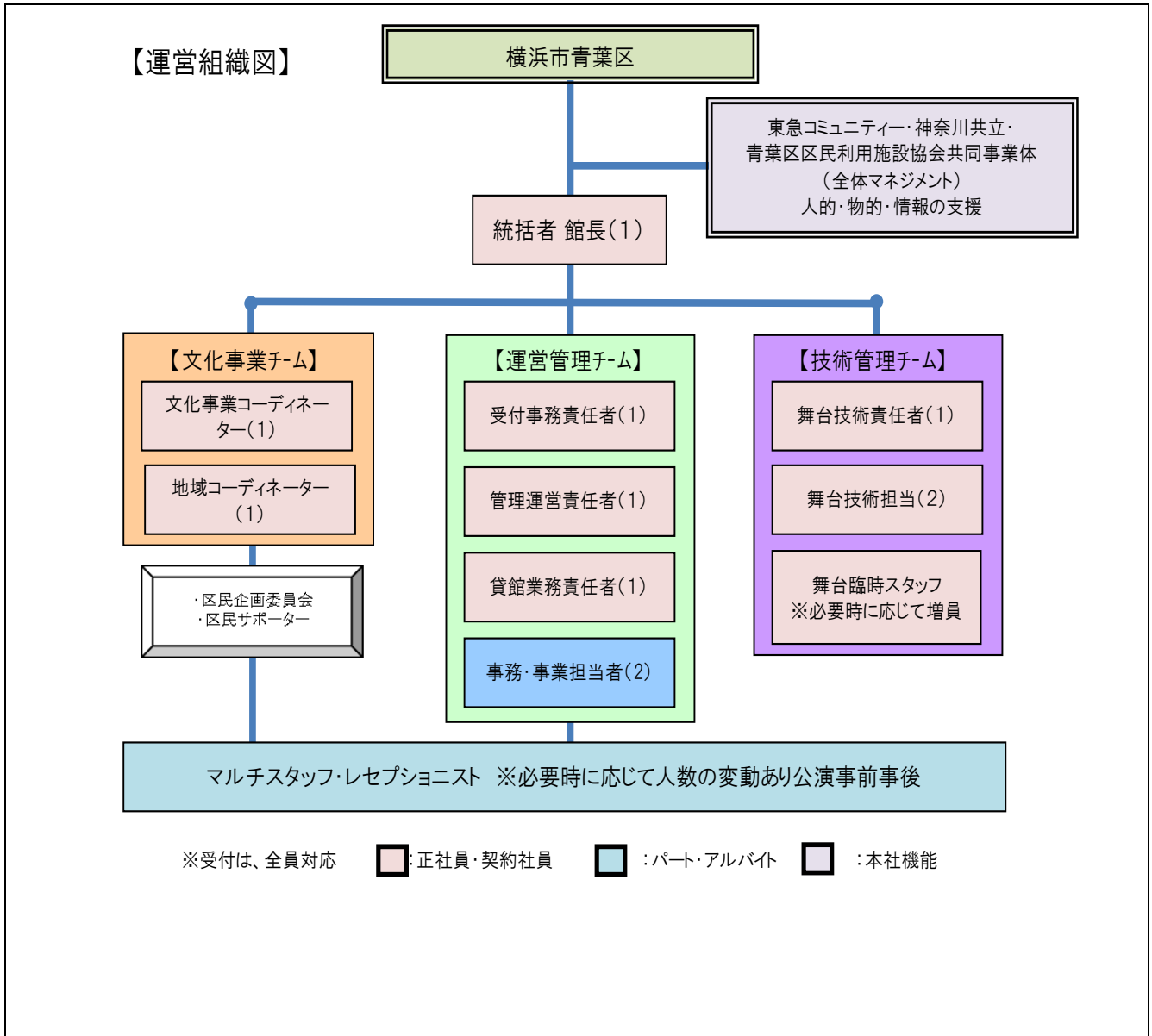
4 施設管理業務の取組

取組内容	達成指標・成果
<p>■危機管理について 危機管理については、「利用者の安全確保を第一」に取り組めます。有事に備えた「マニュアルの整備」や「取り決め」と言った事前の準備が非常に重要です。様々な事象に対する危機を想定し、事前に対応することで災害規模等を最小限に留める危機管理体制を構築します。 青葉区を始め、ビル管理者、各関係機関等と連携を密に取り、迅速かつ正確に対応します。</p> <p>■予防保全について 施設管理業務を行うにあたり、予防保全を実施することで、大規模な修繕や故障を未然に防ぎます。また常駐する舞台技術スタッフにて対応できることは日常点検の中で動作確認や目視点検などを行い、不具合が発生した場合には修繕を計画するなど、施設設備の安全の確保と全体の費用圧縮の両立を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆非常対応マニュアルの作成・活用 非常時対応マニュアルを作成、関係者に周知。また、消防訓練の実施等を通じ、万が一の災害発生時にスタッフが迅速に対応出来るよう心がる。 ◆舞台関係設備保守点検 舞台において、安全でスムーズな舞台管理を行うには、日々の点検・報告業務が不可欠であるため、舞台装置を始めとした施設全体の管理に関して、「日常の保守点検」と「専門業者による定期保守点検」の2本を柱と考え、安全を第一に考える舞台装置の維持管理を行う。 ◆備品の維持管理 貸出するにあたり常に備品の在庫数、および状態を把握し、適正に管理。施設スタッフが適正に維持管理することにより、備品状態の良好な維持と劣化の抑制に繋げる。

5 市政・区政の推進に貢献する取組

取組内容	達成指標・成果
<p>昨年度に引続き、優れた音響設備を備えた文化芸術施設としての強みを最大限に生かした企画開催により協力を深めてまいります。</p> <p>また、横浜市が主催、関連するイベントに関し、協力要請があった場合はホール特性を考慮の上、速やかに協力体制を構築し、貢献してまいります。</p> <p>2016年度は「横浜音祭り」開催年に当たり、フィリアホールも公演会場として、更には広報連携等で積極的に協力します。</p> <p>横浜市は、環境についても環境未来都市に選定されており環境対策をリードする存在であることを当事業体も意識し、横浜市並び青葉区の美しい自然環境を守り、次世代に繋げて行くためにごみの減量・発生抑制など「ヨコハマ 3R 夢プラン」の推進をもって『「感動・挑戦」街づくり』に対応します。</p>	<p>◆横浜音祭り2016 フィリアホールも関連公演会場に。横浜シンフォニエッタの公演予定。他に広報連携・共催などで協力</p> <p>◆青葉区の重要施策への対応 青葉区及び横浜市が主催または共催する行事等については、最優先で協力。 ホールの貸出しにおいて優先的に行うというだけでなく、イベントの開催時には人員を提供するなど、貸館業務以外においても、青葉区及び横浜市の事業に連携するよう努める。</p> <p>◆青葉区民招待 鑑賞事業に際しては、青葉区民の方を対象に特定公演への区民招待を実施。</p> <p>◆ゴミの分別・減量化の周知 「ゴミの分別・減量化」への啓蒙案内掲示に加え、貸館利用者への事前説明の際に「ゴミの分別・減量化」についてご理解ご協力をいただくよう周知します。</p>

別紙1 平成28年度の組織体制



別紙2 利用区分、利用料金設定

諸室名	入場料 有無	曜日	午前	午後	夜間	1日 10時～ 22時	1日 (上限額)
			10時～12時	13時～17時	18時～22時		
ホール	入場料無	平日	10,500	22,500	24,500	57,500	57,500
		土日祝	13,500	28,000	27,500	69,000	69,000
	入場料有	平日	18,500	37,500	41,500	97,500	97,500
		土日祝	21,500	46,500	46,500	114,500	114,500
楽屋1			500	800	800	2,100	2,100
楽屋2			500	800	800	2,100	2,100
楽屋3			800	1,100	1,100	3,000	3,000
楽屋4			800	1,100	1,100	3,000	3,000
楽屋5			1,000	1,600	1,600	4,200	4,200

諸室名	入場料 有無	曜日	10:15 ～ 12:15	12:45 ～ 14:45	15:00 ～ 17:00	17:30 ～ 19:30	19:45 ～ 21:45	1日 9:15～ 21:45	1日 (上限額)
			リハーサル 室		平日	2,350	2,350		
		土日祝	2,850	2,850	2,850	3,000	3,000	14,550	14,550
練習室1		平日	600	600	600	650	650	3,100	3,100
		土日祝	700	700	700	750	750	3,600	3,600
練習室2		平日	600	600	600	650	650	3,100	3,100
		土日祝	700	700	700	750	750	3,600	3,600
練習室3		平日	650	650	650	750	750	3,450	3,450
		土日祝	800	800	800	850	850	4,100	4,100

別紙3 平成28年度の文化事業の企画提案

企画名	企画概要	時期・期間	経費見込み(税抜)	
			収入	支出
土曜ソワレシリーズ 「女神との出逢い」	一流女性アーティストのリサイタル	4月～3月 (全8回)	収入	1,684千円×8回
			支出	1,297千円×8回
			差引	387千円×8回
UST ONE WORLD シリーズ 「ただ一つの世界」	おもに海外の一流アーティストのリサイタル	6月(全1回)	収入	5,383千円
			支出	5,364千円
			差引	19千円
ハイムコンツェルトシリーズ	室内楽に最適なホール特性を活かした公演	5月・6月	収入	1,502千円×2回
			支出	1,199千円×2回
			差引	303千円×2回
ウィークデーコンサートシリーズ 「らん・らん・ランチにいい音楽」	平日昼間の1時間、気軽に音楽を聴くシリーズ	4月～3月 (全5回)	収入	537千円×5回
			支出	465千円×5回
			差引	72千円×5回
土曜ティータイムコンサートシリーズ 「音楽のある風景」	土曜午後に人気アーティストの演奏とトークを楽しむ	9月、11月 (全2回)	収入	2,024千円×2回
			支出	1,490千円×2回
			差引	534千円×2回
特別企画	ホール連携企画(所沢ミューズ) 宮田大と仲間たち	12月	収入	2,093千円
			支出	1,664千円
			差引	429千円
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ	神奈川フィル奏者による室内楽名曲コンサート	7月(全1回) (10月共催)	収入	1,216千円
			支出	1,064千円
			差引	152千円
ニューイヤー特別コンサート	N響アンサンブルと豪華ソリスト コンチェルトの饗宴	1月	収入	3,453千円
			支出	3,187千円
			差引	266千円
ファミリーコンサートシリーズ	夏休みとクリスマスの親子向けコンサート、シニアコンサート	8月、12月 (全3回)	収入	971千円×3回
			支出	858千円×3回
			差引	113千円×3回
フィリア・トーク&コンサートシリーズ 《本と音楽の素敵な出逢い》	今年度新企画。異ジャンルの一流人と音楽家の対談と演奏	5月、9月 (全2回)	収入	1,512千円×2回
			支出	1,424千円×2回
			差引	88千円×2回
フィリア・トーク&コンサートシリーズ 《知って愉しむクラシック!》	今年度新企画。コンサートに加え、アーティストによるレクチャーを	10月、11月 1月(全3回)	収入	1,051千円×3回
			支出	702千円×3回
			差引	349千円×3回
マエストロの白熱教室	指揮科学生の公開授業	7月	収入	201千円
			支出	542千円
			差引	▲341千円
鑑賞型共催事業	海外アーティストによる公演 横浜シンフォニエッタ・神奈川フィル	4月～3月 (12回予定)	収入	299千円×12回
			支出	49千円×12回
			差引	250千円×12回

企画名	企画概要	時期・期間	経費見込み(税抜)	
ホールオープナー	バックステージツアー、ミニコンサート、楽器体験など	8月	収入	185千円
			支出	418千円
			差引	▲233千円
よちよち音楽ワークショップ・よちよち音楽教室	1～3歳の幼児向けワークショップ・音楽教室	6月～10月 (全5回)	収入	43千円×5回
			支出	72千円×5回
			差引	▲29千円×5回
0才から/3才からのコンサート	妊婦、乳児、幼児向けコンサート(共催公演)	10月	収入	247千円
			支出	43千円
			差引	204千円
アウトリーチ	学校訪問コンサート・プログラム 病院等施設訪問コンサート	年4回予定	収入	42千円×4回
			支出	59千円×4回
			差引	▲17千円×4回
65才からのアートライブ	青葉区近隣のシニア世代が出演するコンサート(ホール優先利用、広報サポート)	8月、3月	収入	0千円
			支出	0千円
			差引	0千円
区民プロデュース公演/ 区民サポーター制度	区民企画委員による企画公演、 区民サポーターによる事業運営	3月予定 (2回)	収入	432千円×2回
			支出	795千円×2回
			差引	▲363千円×2回

別紙4 平成28年度の施設管理業務一覧

	業務	内容	頻度	実施詳細
建物等	フィリアホール内消火器	—	—	消火器の詰替え(1回/5年)
	舞台設備保守管理点検	定期点検	3回/年	舞台設備(吊物等)の専門メンテナンス
	照明設備保守管理点検	定期点検	2回/年	舞台設備(照明)の専門メンテナンス
	音響設備保守管理点検	定期点検	1回/年	音響装置の専門メンテナンス
	I T V設備保守管理点検	定期点検	1回/年	映像設備の専門メンテナンス
	ホール客席保守点検	定期点検	1回/年	ホール座席のメンテナンス(座面のクリーニング清掃も含む。)
	ピアノ保守管理 (スタインウェイ2台)	定期点検	1回/年	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による保守点検
	ピアノ保守管理 (グランドピアノ(ヤマハ2台))	定期点検	1回/年	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による保守点検
	ピアノ保守管理 (アップライトピアノ(ヤマハ3台))	定期点検	1回/年	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による保守点検
	ピアノ調律(ホール) (スタインウェイ2台)	調律	1回/年 必要に応じて随時	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による調律
	ピアノ調律(ホール) (ヤマハ1台)	調律	1回/年 必要に応じて随時	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による調律
	ピアノ調律(リハーサル室) (グランドピアノ(ヤマハ1台))	調律	6回/年 (隔月実施)	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による調律
ピアノ調律(練習室2、3及び楽屋3) (アップライトピアノ(3台))	調律	6回/年 (隔月実施)	納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した、実績をもった技術者による調律	
清掃等	清掃業務(専用部分)	日常清掃	毎日	施設内の清掃、ガラス清掃、便所等(消耗品の補充を含む。)
		定期清掃	1回/月	
	小破修繕		随時	専用部分の設備や備品だけに限らず、共用部分にある施設専用の機器もその範囲に含まれる。

※上記に記載がない設備についても必要に応じて点検を行うこと。

※点検回数については、法的制約以外は目安であり、施設規模や機器によって異なる。

※青葉区民文化センターは、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に定める特定建築物に該当する。